

【第 1 号議案】

平成 26 年度事業報告及び決算報告について

平成 26 年度事業報告

I 事業概要

本協議会の事業方針に則り、平成 26 年度の事業計画に基づき各担当幹事を中心に積極的に各事業を推進した。

1. 講演会の開催

- (1) 通常総会講演会を、南青山会館にて平成 26 年 5 月 21 日の第 17 回通常総会後に開催した。

【演題および講師】

- ①「新・機能性表示制度と DHA・EPA の機会」
株式会社グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛 先生
- ②「当面の内外経済情勢を読む」
株式会社双日総合研究所 副所長 吉崎 達彦 先生

- (2) 第 16 回公開講演会を『DHA・EPA の新機能を求めて』と題して行った。本講演会については、報道機関および学会誌等を通じて開催を広告した。

主 催：DHA・EPA 協議会

一般財団法人日本水産油脂協会

会 場：アイビーホール青学会館 地下 2 階 サフラン

開催年月日：平成 26 年 10 月 23 日

出席者数：81 名

【演題および講師】

- ①「エピジェネティクスと栄養」
基礎的側面から食品によるエピジェネティックな調節までの概説
国立大学法人東京農工大学大学院 農学研究院 応用生命化学部門
教授 三浦 豊 先生
- ②「リン脂質からオメガ 3 脂肪酸を動員するホスホリパーゼ A₂」
公益財団法人東京都医学総合研究所 生体分子先端研究分野
脂質代謝プロジェクト 参事研究員 プロジェクトリーダー 村上 誠 先生
- ③「眼科領域におけるオメガ 3 系脂肪酸の機能性」
日本水産株式会社 生活機能科学研究所 所長 辻 智子 先生

第 16 回公開講演会の講演内容は UBM メディア株式会社の「食品と開発」2 月号に掲載され、その別刷を会員および講演会出席者に配付した。

2. 情報の収集・配付

本年度も学会誌・専門誌・業界紙等国内外を含めた刊行物から、各幹事及び事務局が役割分担して情報を集めた。これら収集した情報は、学術・品質・技術情報分科会が学術文献等（学術情報）と、市場動向等（一般情報）の情報に分類し、毎月分科会を開催して取捨選択を行い、会員への配付に努めた。

情報配付状況：平成 26 年 4 月 28 日 21 件（学術情報 7 件、一般情報 14 件）
平成 26 年 5 月 30 日 12 件（学術情報 4 件、一般情報 8 件）
平成 26 年 6 月 25 日 18 件（学術情報 7 件、一般情報 11 件）
平成 26 年 8 月 26 日 18 件（学術情報 3 件、一般情報 15 件）

平成 26 年 10 月 7 日	40 件	(学術情報 6 件、一般情報 34 件)
平成 26 年 11 月 6 日	20 件	(学術情報 6 件、一般情報 14 件)
平成 26 年 11 月 19 日	18 件	(学術情報 3 件、一般情報 15 件)
平成 26 年 12 月 16 日	11 件	(学術情報 2 件、一般情報 9 件)
平成 27 年 1 月 29 日	26 件	(学術情報 4 件、一般情報 22 件)
平成 27 年 2 月 19 日	18 件	(学術情報 1 件、一般情報 17 件)
平成 27 年 3 月 20 日	21 件	(学術情報 4 件、一般情報 17 件)

3. 会員交流会

- ・平成 26 年 5 月 21 日に南青山会館において、通常総会講演会後に開催した。
- ・平成 26 年 10 月 23 日にアイビーホール青学会館において、第 16 回公開講演会後に開催した。

4. 行政への対応

- ・消費者委員会食品表示部会が公示した「栄養素等表示基準値及び栄養機能食品に係る食品表示基準（案）についての意見募集」（パブリックコメント）へ、平成 26 年 11 月 14 日、追加成分として「EPA、DHA」ではなく n-3 系脂肪酸が採用された経緯の説明とその機能として皮膚炎だけに着目した理由を求める意見を提出した。
- ・平成 26 年 11 月 18 日に水産庁漁政部加工流通課を訪問し、平成 27 年 4 月より実施される「食品の新たな機能性表示制度」に対する業界の対応を説明した。

5. 「協議会だより」の発行

DHA、EPA に関わる情報やトピックス、幹事会の活動状況等を会員に理解してもらうことを目的に、幹事、会計監査、顧問等が執筆を分担し「協議会だより」を毎月発行した。

6. 研修会の開催

会員を対象とした研修会で、平成 26 年 9 月 5 日に多摩市にある一般財団法人日本食品分析センター多摩研究所を訪問した。同研究所の職員に食品表示基準について説明いただくとともに、所内の実験施設等を見学した。会員企業 6 社、9 名が参加した。

7. ホームページの運営

本協議会のホームページを随時更新し、講演会の案内等、情報提供を行った。

8. DHA、EPA に関わる広報普及活動

平成 26 年 1 月から 12 月までの 1 年間の事業として、DHA、EPA に関わる情報を PR 代理店からマスコミにニュースレターとして提供し、各マスコミがニュースとして一般向けに取り上げるようにした。平成 26 年度は 5 月から 11 月まで 4 回のニュースレターを発信した。これらの内容は資料として会員に配付するとともに、ホームページにも掲載し啓蒙普及に努めた。

II 総務事項

1. 会員の異動

入会	平成 26 年 4 月 22 日	オリエンタルバイオ株式会社 (正会員)
	平成 26 年 4 月 22 日	株式会社ラフイーネインターナショナル (賛助会員)
	平成 26 年 5 月 19 日	株式会社稲井 (賛助会員)
	平成 26 年 7 月 3 日	株式会社えがお (正会員)
	平成 26 年 10 月 1 日	スメーブジャパン株式会社 (正会員)
	平成 26 年 10 月 1 日	株式会社ミヤビマーレ (正会員)
退会	平成 26 年 6 月 26 日	ナガセケムテック株式会社 (賛助会員)
	平成 27 年 3 月 31 日	兼松新東亜食品株式会社 (正会員)
	平成 27 年 3 月 31 日	株式会社ビー・インターナショナル (正会員)

平成 27 年 3 月 31 日現在 正会員 31、賛助会員 9

2. 幹事の役割分担

役員一覧表および幹事の役割分担は p. 6 の資料ご参照。

3. 会計監査人による会計監査

平成 27 年 4 月 3 日

III 幹事会の開催 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日)

第 1 回	平成 26 年 4 月 11 日	日本水産油脂協会新館	会議室
第 2 回	平成 26 年 5 月 9 日	同	上
第 3 回	平成 26 年 6 月 6 日	同	上
第 4 回	平成 26 年 7 月 18 日	同	上
第 5 回	平成 26 年 9 月 12 日	同	上
第 6 回	平成 26 年 10 月 17 日	同	上
第 7 回	平成 26 年 11 月 7 日	同	上
第 8 回	平成 26 年 12 月 5 日	同	上
第 9 回	平成 27 年 1 月 16 日	同	上
第 10 回	平成 27 年 2 月 13 日	同	上
第 11 回	平成 27 年 3 月 13 日	同	上

IV 分科会の開催 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日)

1. 情報収集に関する分科会

幹事会の開始前に情報の取捨選択に関わる分科会を開催 (計 11 回) した。

2. DHA、EPA の広報普及活動に関する分科会

ニュースレター発行前にメール会議を開催し、ニュースレターの内容を決定した。

3. 食品の新たな機能性表示制度に関する分科会

第 1 回	平成 26 年 10 月 7 日	日本水産油脂協会新館	会議室
第 2 回	平成 26 年 11 月 6 日	一般社団法人国際栄養食品協会	会議室
第 3 回	平成 26 年 12 月 3 日	日本水産油脂協会新館	会議室
第 4 回	平成 27 年 1 月 16 日	日本水産油脂協会新館	会議室